キャンサーひょうご

ひょうごがん患者連絡会 ニューズレター No.5

発行責任者 中原武志　編集 田村・坂手・有本・石上・草野

〒651-2109 神戸市西区前開南町 1-2-1 阪神高齢者障害者支援ネットワーク内

TEL 078-976-5050 FAX 078-977-0224　http://hyogo-capa.net/

発足から1年半の今、考えること

会　長　中原　武志

「ひょうごがん患者連絡会」が発足して1年半が経ちました。会長をもう一年続けて何らかの成果を示せと、総会にて再選されましたので、この機会にこれまでを振り返り、これからの道筋を考えてみたいと思います。

発足してすぐに、それが最初の目的ではありましたが・・・県が作成中の「がん対策推進計画」に対して、連絡会が意見書を提出し、それが「がん対策推進計画」の基本理念などに反映されたことは、一つの成果だと思います。その後は、早期発見・早期治療のための検診率向上に向けて、県と協働を図るべく努力いたしましたが、私たちが思う以上に県当局の縦割り行政の壁は厚く、腰が重く失望するばかりの1年が過ぎ去りました。連絡会独自で企画した「講座」を開き、少しでもがんに対する認識が高まるように努めるとともに、連絡会内部の充実を図る1年間でもありました。

がん拠点病院との緻密な連携を希望し、その方向を探りましたが、やっと「県立がんセンター」「神戸大学病院」との話し合いができたにとどまりました。ここにも、行政の高い壁を強く感じるものがあり、今後に向けても、その壁の打破ができるかどうかにかかっていると考えております。

やっと、今年になり、県当局から「早期発見・早期治療」に向けてのキャンペーンを始めたいとの連絡を受けましたが、その矢先に新型インフルエンザの感染が県内に広がり、がん対策に関わっている「疾病対策課」がその対策にかかわっていることから、これらキャンペーンの先行きが案じられます。

これらを考えるとき、いちばん気になるのは、県当局のマンパワー不足と予算不足です。がんで亡くなる方が、県の全死亡者の3分の1以上であるのに対して、なんと貧弱な予算であり、マンパワー構成であることか。

連絡会に参加している14の患者会は、高齢者が多く、そしてまた病状の悪化によるマンパワー不足にもかかわらず、それぞれのグループにおいて懸命の活動を続けておりますが、行政の積極的な参画なくして、早期発見・早期治療はなしえないことは言うまでもありません。

県知事にお願いです。もっと積極的にがん医療及び早期発見に力を入れてください。今のままでは、全国第2と言われる兵庫県の「がん対策推進計画」が泣きますよ。死亡者の多さを考えても、少なくとも「がん対策」だけにマンパワーを割くべきではないでしょうか。

参加団体のメンバーにお願いです。それぞれのグループ内においても、連絡会としても、求めるだけではなく、おのずから積極的に行動してこそ何かが生まれます。今年、そうした人材が、グループ内に一人でも二人でも多く出てきてくだされば、新たな局面を迎えられるのではないかと期待し、念じております。

初めての総会を迎えての今の気持ち・・・

副会長　　黒田　裕子

ひょうごがん患者連絡会が発足して一年半を迎えることが出来ました。あっと言う間の一年半でした。この間には、様々な団体が集合し一体化して第一歩を歩き出しました。

その第一歩は病むものが志を同じくしてのものです。がん対策基本法が出来ても名ばかりで一向に進まない現状です。そんな中で兵庫県内に居住するものが様々な角度から意見を出し合って徹底的に討論し、そのことが政策に繋げられるようにと団体の代表が一体となり話し合っている姿にはとても感動的なところがあります。

この連絡会の役割は大きく、今、社会の中で騒がれている問題、また、まだ問題化はしていないが、今後更に思考していかなくてはならないことが山積しています。

その山積している問題を具現化していってこそ、この会ではないかと思います。

連絡会は幅広く、オギャーと生まれた乳児から高齢者までの全般をみつめて、先取りのケアを提起していると確信しております。

この会には、子どもの問題に徹底的に取り組んでいらっしゃる方もおられ、知らない分野を知ることが出来ることはとても素晴らしいと考えます。

この会の設立に当たっては、それぞれの思いを語り合い、その上で創設したのですが、メンバーが固定されているこの会にもっと多くの皆様にお入り頂いて本音で話し合うことが出来ればとも考えています。

これからこの会がしなくてはならないこととしては、がん対策基本法が制定されたものの、各自治体が十分な実施策を策定していないことがあり、それを皆の手で掘り下げ、再構築できるように考えることにあると思います。又、今の流れの中で問題視しなくてはならないことのひとつとしては、在宅が進化する中、在宅で安心して療養したくても十分出来ないような状況があります。それには、在宅保険がまだまだ確立されていないこともあります。これらのことをこの会が考え、国に提言していけるように出来ればと考えます。みんなの手で政策を作り上げ、そこに暮らすものが、退院しても安心して在宅で暮らせるようにしていくことが大切です。

各団体が、現場で困っていることを本音で語り合うことが出来るようになれば、もっとこの会が成熟できるのではないかといつも考えています。

がん患者会の代表が一同に集まってこの様な連絡会を実施している所は、兵庫県だけでしょう。それだけにモデルとなれるようにこの会が会長の理念を推進して一致団結できるように頑張っていけたらと思います。

未熟な副会長ではありますが、皆様達から育てられ一歩一歩力強く進んでまいります。社会情勢を先取りできて、いち早く皆様の声を全国に届けていければと思っています。
今年一年どうぞ宜しくお願い致します。良き一年でありますように支え合いましょう。

ひょうご がん患者連絡会の活動概況を紹介します

（2009 年 3 月下旬~5 月中旬 活動分）

事務局長　田村美生夫

2009 年 3 月 30 日：県当局と「がん対策推進計画打合せ会」を開きました。

連絡会から８団体２個人、計 14 名が出席し、兵庫県疾病対策課長、同課企画調整係長、同係主査を囲んで以下に示す議題について話し合いを行いました。

① 2008 年度の取組み状況と 2009 年度の推進計画について（双方から夫々報告）

② 2009 年度の協働活動のすすめ方について（意見交換）

県当局とのがん対策推進計画に関する話し合いは、計画がスタートしてから１年ぶりに開催できたものです。県当局からは、多くの課題を抱える中で初年度に行った具体的な活動状況の報告があり、連絡会ががん対策の推進に取組む上で、また、県当局と協働の進め方について話し合いを続けていく上で、課題を具体的に共有化することが出来るようになりました。

今年度は、課題への取組みをお互いにフォローしながら具体的に話し合いを続けていくことにしました。なお、4 月 1 日付けで転出される疾病対策課長に、連絡会の研修会で、“兵庫県のがん対策についての思い”を聞かせてほしいとお願いしたところ、快諾をいただきました。

2009 年 4 月 1 日：第 3 回フリートーキング会を開きました。

3 月 19 日開催の月例会で確認された「2009 年度事業方針案」（前報掲載）を具体的にどう進めるかについて意見交換を行いました。確認事項は第１回定期総会に提案することとしました。

2009 年 4 月 16 日：第 1 回定期総会及び第 1 回運営委員会を開催しました。

定期総会議案は、2008 年 12 月度例会以来、毎月開催の例会やフリートーキング会で討議を重ねて確認された事項、及び事前に提案された事項で構成されたものです。

定期総会では、議案内容を参加会員全員のものにするとの考えで時間を掛けて討議されました。多くの意見が出されましたが主なものは次の通りです。

① フリートキング会は会員全員の参加が望ましく、研修会のない隔月月例会はフリートーキングに重点をおいて運用する。

② 研修会をより有益なものとするために、研修会終了後にグループワークの時間を設けて、研修結果をどう受け止め、どう活かしていくかなどの話し合いを行う。

③ “連絡会の運営に積極的に貢献頂いている個人会員には、例外的に総会議決権を認めるべきではないか”との意見があった。討議の結果、現状では“積極的貢献”を客観的に評価できるものに乏しいが、新年度には運営委員会を中心とする各種委員会で個人会員にも貢献頂くことになっている。従って今定期総会では現状のまま据え置いて会員のみなさんの評価を待つことにする。

④ 新役員には、中原会長、黒田副会長、田村事務局長が再任され、新たに、会計には中島氏、監事には高出・去来川両氏が選任された。

議案は、以上の決定を含め全議案可決決定されました。

第１回運営委員会は、定期総会終了後に引続き開催され、県当局が計画している「がん予防キャンペーン」プロジェクト（5 月～9 月）に参画していく事を決定しました。（差込みページ参照）

2009 年 5 月 21 日：第 1 回月例会は「新型インフルエンザ」のため中止としました。

4 月 16 日開催の定期総会の決定議案と討議経過、及び引続いて開催された運営委員会の決定を受けて開催する 2009 年度の最初の重要な月例会でしたが、新型インフルエンザが急に広範囲に感染する中、会員の安全と安心を最優先して中止としました。

この遅れは、6 月度例会以降の運営面で皆さんに工夫をして頂いて取り戻したいと考えています。

以　　上

ひょうご がん患者連絡会行事予定（2009 年６～８月）

日　時	行事・会費	テ　ー　マ・講　師	場　所
5 月 30 日（土）	兵庫県がん予防 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ・ｷｯｸｵﾌ会	がん予防プロジェクトの 取り組みについて	ひょうご 女性交流会館
6 月 18 日（木） 18：00～19：30	第 2 回 がん医療研修	放射線治療の現状について 先端医療ｾﾝﾀ研究ﾘｰﾀﾞ小久保雅樹 Dr.	兵庫県民会館 901 号室
19：30～21：20	第 1 回ﾌﾘｰﾄｰｷﾝｸﾞ会	2009 年度課題への取組み　はか	
21：20～21：50	第 2 回運営委員会	―――――	
7 月 16 日（木） 18：00～20：00	第 2 回 ﾌﾘｰﾄｰｷﾝｸﾞ会	―――――	兵庫県民会館 302 号室
20：00～	第 3 回運営委員会	―――――	
8 月 20 日（木） 18：00～18：30	第 4 回 運営委員会	―――――	兵庫県民会館 901 号室
18：30～20：30	第 3 回 がん医療研修	がんｾﾝﾀｰのがん医療への取り組み がんｾﾝﾀｰ　副院長　足立秀治 Dr.	
20：30～	研修ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	研修後の討議でテーマを決定	

ニューズレターの編集について

このニューズレターは、５団体から応募いただいた編集委員による協議で編集し、会長の査閲を経て発行されます。

ニューズレターの構成は、第１面が各団体代表による取組み報告、第 2 面が各団体持ち回り執筆の連絡会関係の活動報告となっております。

創刊号は会長と“日本がん楽会”が執筆し、第 2 号は副会長と“ゆずりは”が執筆しました。第 3 号からは加入団体の持回り執筆となっておりますが、第 5 号は“定期総会号”として、会長、副会長に執筆頂きました。第 6 号からは再び持ち回り執筆で“いずみの会”さんに担当頂きます。

編集後記は編集委員持ち回りで、“はりま粒友クラブ”坂手運営委員にお願いします。

編集後記

事務局　田村美生夫

連絡会ニューズレター第 5 号は、会長、副会長に“第 1 回定期総会を終えての思い”を執筆していただきました。夫々に連絡会として考えていかなければならない基本的な問題提起をいただきました。皆さんと一緒に、これからの活動の糧にしていきたいと思います。

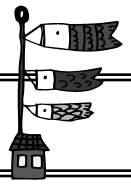
新型インフルエンザが流行しています。がん患者は、日頃から“手洗い”と“うがい”を入念にするようにと言われてきました。この機会に、“手洗いは指だけでなく、手のひらから付け根１０ｃｍまで”“うがいは３回グジュグジュを３回繰り返す”を習慣化したいものです。みなさん気をつけてお過ごしいただいて、近々またお会いしましょう。

[ニューズレターNo.5 差込みページ・・・・裏面もご覧下さい]

がん患者連絡会加入団体等の公開講座等予定（2009 年６月～８月）

日時・場所	主催(TEL)・会費	テーマ・主な内容・講師
6 月 13 日（土） 14：30～16：30 駅前 しらさぎﾋﾞﾙ 3F	あじさい会 500 円(会員 200 円) (079-222-6789 だいとうｸﾘﾆｯｸ) 又は(0790-32-0594 去来川)	「がん診療連携拠点病院とは(内容と役割)」 姫路医療ｾﾝﾀｰがん相談支援室長 和田医長外 姫路赤十字病院がん看護専門看護師 北山氏
6 月 19 日（金） 14：00～春貴ﾋﾞﾙ 4F 中央区三宮町 3-9-19	日本がん楽会がんサロン (078-958-8415) 無料	・治療情報交換・相談「がんサロン」 ・ゲスト出演：落語会
7 月 8 日（水） 14：00～春貴ﾋﾞﾙ 4F 中央区三宮町 3-9-19	日本がん楽会がんサロン (078-958-8415) 無料	・治療情報交換・相談「がんサロン」 ・ゲスト出演：マジックショー
7 月 18 日（土） 14：00～16:00 兵庫県民会館 1001 号	ゆずりは公開講座 (078-976-5050) 会費　800 円	「セカンドオピニオンって な～に」 （講師：未定）
7 月 25 日（土） 13:00～　六甲荘 中央区北野町 1-1-14	はりま粒友クラブ例会 (078-958-8415) 会費 1200 円	「食べたものは どこに行くのか」 はりま粒友クラブ 代表　　中原武志

[ニューズレターNo.5 差込みページ・・・・裏面もご覧下さい]



「がん予防キャンペーン」プロジュクトが立ち上がります

兵庫県は 2009 年度上期事業として“がん早期発見・早期治療”キャンペーンのためのプロジェクトを立ち上げました。

このプロジェクトの概要をご紹介します。

１、プロジェクト活動の目標

① キャンペーン等に使用する“がん検診パンフレット”を作成する。

② パンフレット等を活用した県民へのがん検診受診啓発の方法やキャンペーン法の検討を行い、がん予防に貢献する。

２、プロジェクト・メンバーとその役割

No.	メ ン バ ー	役　　割
1	学生(高校・大学生)	教育用、キャンペーン用資料を検討し作成する
2	ひょうごがん患者連絡会	患者の視点からがん検診の必要性、早期治療の重要性を教育する
3	医療従事者	資料作成のためのデータ提供と資料作成支援を行う
4	兵庫県健康福祉部	事務局
5	米国研究製薬工業協会	事務局

３、プロジェクト活動予定

・5 月 30 日（土）　キックオフ・ミーティング
・6 月　第 1 回検討会 :「がんとは何か」
・7 月　第 2 回　:「がんにならないために」
・8 月　第 3 回　:「がん検診・がん治療」
・9 月　第 4 回　:「キャッチフレーズの検討」
・10 月　第 5 回　:「パンフレットの配布と使用法」

４、学生メンバー公募について

兵庫県では学生メンバーを公募しました。

ひょうごがん患者連絡会にも県当局から公募協力依頼があり、加入団体等のみなさんに応募に協力いただくようにお願いをしてきました。

応募にご協力いただいた方々にはお礼を申し上げます。

ひょうごがん患者連絡会が、このプロジェクト活動でみなさんのご子息や、お知り合いの方と一緒に作業が出来ることは感動的です。連絡会の活動にもこのような輪を広げていきたいと思います。

（事　務　局）